

岩崎灌園『本草図譜』に描かれた艾葉

## 艾葉 (ガイヨウ)

艾葉は日本ではキク科のヨモギ又はオオヨモギの葉及び枝先を乾燥した生薬と規定されています。味はやや苦く、特異なおいがあります。よく乾燥させたヨモギ又はオオヨモギの葉を石臼ですり潰し、ふるいにかけて葉の裏にある毛を集めたものがもぐさ(艾)になります。艾葉は後漢末頃の『名医別録』という本草書が初出とされ、お灸として利用の他、煎じ薬として下痢、吐血、婦人科系疾患等の適用が記されています。また張仲景の『金匱要略』を出典とする芍帰膠艾湯に配合され、諸種の出血症状などに使用されます。当施設の艾葉は日本産の野生品を使用しています。

### 臨床の話

#### 「健康と東洋医学」

漢方診療部・鍼灸診療部 北里大学客員教授 伊藤 剛



「健康」という言葉は、いつ頃から使われ始めたか皆さんはご存じでしょうか?昔からあったと思われるかも知れませんが、実は江戸時代後期まで中国にも我が国にも無かった言葉なのです。江戸時代まで「健康」に該当する言葉としては、「健やか」「壮健」「康寧」「元気」「丈夫」「康健」などという言葉が使われていました。現在の漢方でも用いられる「養生」や「未病」という言葉もありましたが、これは自らの生を養い無病で長生きを実現する手段や予防治療に対する医師の心構えを表す言葉であり、「健康」という状態を示す言葉とは概念が異なるものでした。

そもそも「健康」という言葉は、江戸時代、天保の飢饉で全国的に餓死者が増える中、1836年に蘭方医の高野長英が『海洋内景説』という本の中で用いたのが最初とされています。その後、蘭学者の緒方洪庵は、『病学通論』などの文中で「健康」という言葉を用いています。幕末期になると堀達之助が『英和对訳袖珍辞書』を編纂し、その中で英語のhealthを「健康安全」と初めて訳した後、1866年には、緒方洪庵の適塾で学んだ福沢諭吉も『西洋事情初論』の中でhealthを「健康」と訳して用いるようになり、「健康」という言葉は全国に広まって行きました。しかし明治時代になると、「健康」という言

葉は、西洋医学の浸透と共に富国強兵策の観点から「病気でなく丈夫である身体状態」として国民に求められる条件のように使われるようになりました。その後、作家や自由民権運動の思想家なども使いはじめ、現在のような意味での「健康」という概念が全国に広く定着していったのです。

一方、現代の西洋医学では、治療をする際には必ず「健康か、健康でないか」または「病気か、病気でないか」を判定する必要があります。そのために検査や診断病名が必要とされるのです。しかし東洋医学では、治療に際して必ずしも診断名や健康の有無は必要とされません。と言うのも症状から五感を駆使した診察により身体的異常(証)を見極め、その異常所見に対する治療を行うからです。中国や我が国の伝統医学には「健康」に該当する概念や用語が無かったのは、「健康」という固定概念を必要としなかったためかもしれません。

ところで、病気の原因を解明し、それを取り除き健康にするという西洋医学のこうした考え方を「病因論」(パソージェネシス)と言いますが、アメリカの健康社会学者であるアーロン・アントノフスキーは、それとは逆に、健康になるための要因を解明し、それを強化生成する「健康創成論」(サルトージェネシス)という考えを打ち立てました。どんなに悪い状

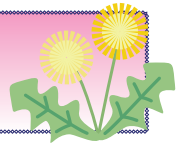
態からでも他に存在する健康な部分を活性化して、より健康な状態を作り出すという考えです。つまりたとえ癌を取り除く事はできない末期であろうとも、患者さんの状態を少しでも改善させる治療は可能であると言うのです。この考えはまさに全人的医療を目指す東洋医学の考えそのものでもあり、さら

に漢方薬治療や鍼灸治療には、数千年の間に培われた診断法や治療法もすでに備わっている場合が多いのです。東洋医学外来で私達の行っている医療も、実は、病因を追求するパソジェネシス型西洋医学に健康を作り出すサルトジェネシス型東洋医学を融和した医療に他ならない。

最新 漢方研究の世界

機械学習を利用した生薬の品質管理

薬剤部 白畑 辰 弥



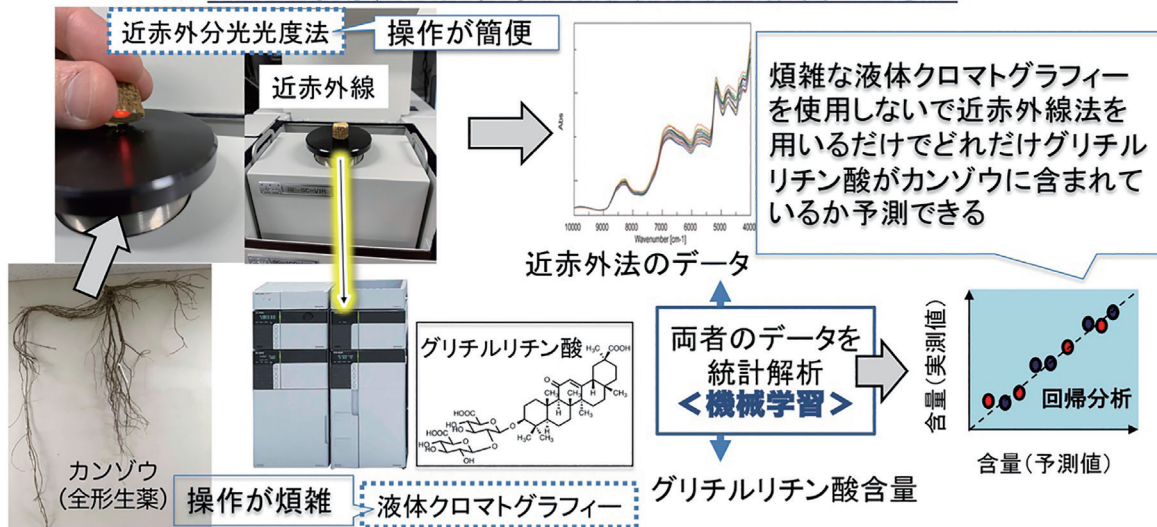
当施設では、安心・安全に漢方薬をお届けするために、漢方薬を構成する生薬の品質管理に取り組んでいます。今回は「機械学習」を取り入れた生薬の品質管理の取り組みについて述べたいと思います。生薬には、多くの成分が含まれています。

その多くの成分の中から該当する生薬を代表する成分（指標成分といいます）の生薬中の量を測ること（定量）が、「日本薬局方」で定められています。この指標成分の定量は、液体クロマトグラフィーという機器を使います。この方法は、薬剤師が調剤業務の合間に実施するには、時間や手間がかかるという問題点があります。そこで、簡便に実施できる分析手法と機械学習を組み合わせ、この問題の解決に取り組んでいます。「ファンヒーター」などで使用される赤外線を利用する近赤外分光法は、特殊な赤外線を生薬に当てるだけで、データが得られる方法です（図）。この方法は粉碎や溶液にする必要がないので、データを取った後に他の分析がで

きます。データ取得後、液体クロマトグラフィーでさらに指標成分の定量を行います。両者のデータ、すなわち近赤外法と液体クロマトグラフィーのデータについて機械学習を用いて計算することで、近赤外法のデータから指標成分の量を予測できるようになります。近赤外法と液体クロマトグラフィーの両機械を持ち合わせている北里大学薬学部生薬学教室で、研究が進められています。これまで、生薬「カンゾウ」の指標成分であるグリチルリチン酸の予測モデルの作成に成功しており、近赤外線を当てるだけでグリチルリチン酸の量を予測できるようになりました。機械学習はサンプル数が多いほど予測精度が向上します。この研究ができるのも、当研究所で使用されてきた多くの生薬サンプルのお陰です。今後は他の生薬でも、この研究を進めて、薬剤師が品質管理を簡単に実施できるお手伝いをしていきたいと考えています。

機械学習を利用した含量予測による品質評価

NIRによるカンゾウ中グリチルリチン酸含量の予測



生薬豆知識 **ヨモギ**

薬剤部 主任 三 澤

心

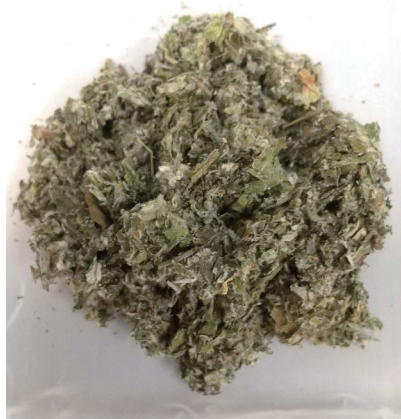


「艾葉」の基原植物の1つであるヨモギはキク科ヨモギ属の多年草で草丈60~120cm、葉は長さ6~12cmで上面は暗緑色を呈しており、下面は灰白色の綿毛を密生します。もう1つの基原植物であるオオヨモギもキク科ヨモギ属の多年草で草丈150~200cm、名前の通りヨモギよりも大きく茎も太いです。これらの葉や枝先を夏に採取し乾燥させたものが生薬の「艾葉」となります。ヨモギ属の植物は有用なものが多く、洋の東西問わず利用されてきました。紀元1世紀頃ディオスコリデスにより書かれた『薬物誌（ギリシャ本草）』には、内服以外にもヨモギ属の植物を煮て座浴に用いたり下腹部に全草を当てたりして婦人科系症状を改善する方法などが記載されています。また漢方では艾葉以外にもカワラヨモギの頭花を「茵陳蒿」として黄疸や皮膚疾患などに利用し、マリア治療薬であるアルテミシンの抽出原料となった「青蒿」もヨモギ属の植物です。

日本においてヨモギは薬用のみならず日常生活に身近な植物で、前述のようにもぐさ（艾）として利用する他に、若葉を天ぷらにしたり茹でて草餅にしたりと食卓を楽しませてくれますし、入浴剤や化粧品、ヨモギ蒸しなども特に女性に人気です。またその独特な香りから邪気を払う植物としても古くから利用され、清少納言の『枕草子』では端午の節句にヨモギやショウブを軒先につるして厄払いする様子が記されています。

このようにヨモギは様々な面で役立つ植物ですが、花粉症の方にとっては悩みの種かもしれません。ヨモ

ギの花粉はご存じのように花粉症を引き起こす原因物質の1つです。ヨモギといえば色鮮やかな若葉から春を連想されると思いますが、ヨモギの開花は9~10月頃で淡褐色の頭花を多数つけますのでヨモギ花粉症は秋に発症します。加えてヨモギ花粉症の方は花粉-食物アレルギー症候群（pollen-food allergy syndrome:PFAS）の合併にも注意が必要です。PFASは口腔咽頭症状に限局することが多いので口腔アレルギー症候群（oral allergy syndrome:OAS）ともいわれますが、全身の症状を誘発する場合があります。PFASは花粉抗原と食物抗原の交差反応による食物アレルギーのことで、ヨモギ花粉とセリ科のセロリやニンジン、ウルシ科のマンゴーやスパイス類（クミン、コリアンダー、フェネルなど）が交差反応するという報告があります。ヨモギ花粉症の方がこれらの食物を摂取する際はどうぞご注意ください。



艾葉



ヨモギの花

ツボの効用 **めまいに効くツボ**

鍼灸診療部 富 澤 麻 美



一般にめまいは中枢性と末梢性に分類できません。中枢性は、船に乗っているような浮遊感のめまいで、症状は比較的軽度ですが、嘔下や呂律の障害や両下肢の脱力発作を伴うことが多く、脳梗塞や脳出血などが原因で生じます。末梢性は、周囲がぐるぐる回るめまいが起こり、メニエール病や良性発作性頭位めまい症など内耳や前庭の障害によるものです。しかしめまいは原因不明のこと

が多く、この場合は交感神経機能に何らかの異常があることがわかっています。頸部の交感神経は主に上頸部の交感神経節から出て、椎骨動脈から脳底動脈へ行き、さらに脳幹、小脳、前庭などへ分布します。そのため頸部の片側の交感神経が異常に緊張すると、左右差が出来、その結果、内耳の血流にも左右差を生じ、末梢性めまいを引き起こすと考えられています。PCやスマートフォン

の長時間の使用といった、首に負担のかかる同じ姿勢を続けることによって、後頸部の筋肉が緊張することが、めまいの原因となります。さらに春は、気圧の変動や寒暖差により、交感神経や副交感神経といった自律神経が乱れやすい時期です。そのため血管の収縮や拡張に関わる自律神経の切り替えがスムーズに行えず、血流が悪化しめまいを引き起こしやすくなります。

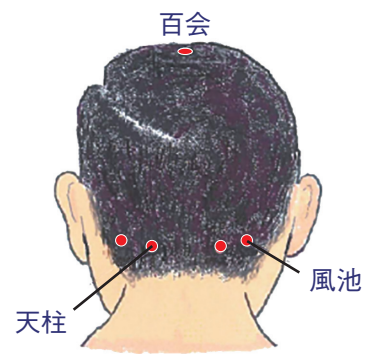
東洋医学的には、春は五行に分類すると肝の季節です。肝の主な働きは、血液を貯蔵し全身を流れる血液をコントロールする「蔵血」作用と精神機能や臓腑の活動を伸びやかに円滑に保つ自律神経のような働きをしている「疏泄」作用などがあります。ストレスなどで肝の働きが強まるとめまいが起こりやすくなります。

古典では、めまいを意味する言葉として『黄帝内経素問』に「掉眩」と出てきます。掉は「不安定に揺れる」、眩は「目がくらついて、見定められないこと」という意味で、非回転性のめまいを意味します。『鍼灸重宝記』に「諸の眩暈はみな肝に属す。」との表記があり、めまいが肝と関わりがあることが分かります。『黄帝内経靈枢』に

は、「およそ上気不足すると、髓海が満たされず、目が眩むなどの症状が現れる。」との記載があり、頭の方の気が不足するとめまいになると考えられています。

今回は足の太陽膀胱経、足の少陽胆経、督脈にあるめまいに効く経穴を紹介します。首の骨のラインを髪の毛の生え際までたどり頭蓋骨の下にある窪みの中にある天柱穴、後頸部の髪の毛の生え際、僧帽筋と胸鎖乳突筋の間にある窪みの風池穴、両耳の一番高い場所を結んだ線と、鼻から後頭部中央を結んだ線、その二線が交わる頭頂部にあるのが百会穴。これらのツボは交感神経をコントロールして脳の血流を調節し、椎骨動脈の血行不良の原因となる首や肩の凝りをほぐす作用があります。

ツボ押しをして、めまいの予防をしていきましょう！



北里研究所病院 漢方鍼灸治療センター 外来案内

Table with columns for 漢方科 (Hanpaku) and 2023年4月1日～. Rows for 午前 (Morning) and 午後 (Afternoon). Columns for 月 (Monday), 火 (Tuesday), 水 (Wednesday), 木 (Thursday), 金 (Friday), 土 (Saturday).

休診日：日曜日・祝祭日・年末年始(12/29～1/3)
ホームページ：http://www.kitasato-u.ac.jp/tou-ken/

Table with columns for 鍼灸科 (Shinju) and 2023年4月1日～. Rows for 午前 (Morning) and 午後 (Afternoon). Columns for 月 (Monday), 火 (Tuesday), 水 (Wednesday), 木 (Thursday), 金 (Friday), 土 (Saturday).

※黒字は男性医師または男性鍼灸師
赤字は女性医師または女性鍼灸師
※★印はコロナ後遺症外来
※黒岩鍼灸師は休診中

※専門外来では一般の患者様の診療も行っております。
① 月曜日午前の花輪医師の外来は、初診の方のみとさせていただきます。
② 火曜日午前(第1・3)の伊藤(剛)医師の冷え症外来は、初診のみとさせていただきます。
③ 土曜日の外来は、交代制となります。スケジュールはホームページまたは予約電話へお問合せください。
④ 金曜日午後の伊藤(剛)医師の外来は第1、2、3金曜日のみとさせていただきます。
⑤ 土曜日の外来は、交代制となります。スケジュールはホームページまたは予約電話へお問合せください。

予約電話：03-5791-6169
(月～金) 8:30～11:00
及び
12:00～16:00
(土曜日) 8:30～11:00
その他のお問い合わせ
03-5791-6169

Table for 初診受付時間 (First Visit Reception Time) with columns for 漢方科 (Hanpaku) and 鍼灸科 (Shinju), and rows for 月～金曜日 (Monday-Friday) and 土曜日 (Saturday).

Table for 再診受付時間 (Re-visit Reception Time) with columns for 漢方・鍼灸 (Hanpaku/Shinju) and rows for 月～金曜日 (Monday-Friday) and 土曜日 (Saturday).

Table for 漢方ドック (Hanpaku Dock) with columns for 月～金曜日 (Monday-Friday) and 土曜日 (Saturday).



⑥ 土曜日午前の伊東秀憲医師の再診受付時間は8:00～11:00とさせていただきます。 WEBサイト